

## 令和8年 年頭の挨拶

年頭挨拶

若いパワーを取り込み、  
発揮してもらい業界発展の年に

全日本一般缶工業団体連合会  
東日本一般缶工業協同組合 会長  
田土經營代表 鈴木知朗 様

最上 裕光



あけましておめでとうございます。  
謹んで新春のご挨拶を申し上げますと

ともに、日頃より当組合の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申しあげます。

昨年を振り返りますと、アメリカのトランプ大統領が再選され、大幅な関税政策による日本経済への大きなダメージが心配されました。日経平均株価は過去最高を記録し、関西万博も当初の予想を上回る来場者数で大いに盛り上がりを見せました。一方で、物価高と政府の推進により最低賃金は過去最大級の増加幅となり、我々中小企業の経営に大きな負担としてのしかかりました。

そのような中、当連合会開催のイノベーションフォーラム2025において

て「中小企業の未来を考える」一人が集まる会社づくりーと題して、株式会社古田土經營代表 鈴木知朗様に採用、定着、育成などについて事例を交えながらご教授いただきました。

また11月には東日本組合の行事として

情報交換会を開催し、鉄鋼3社の営業責任者の皆様方にご出席いただき、当組合員が懸案としている、受注の小ロット化対応、物流、エネルギーコスト上昇問題等、忌憚のない会議の内容を聞いていただき、鉄鋼3社の皆様からも率直な感想などを頂くことができました。

さて本年は高市政権による、減税措置や経済対策に、期待するところもありますが、これまで同様に、他素材容器との差別化、付加価値提案を目指し、お客様や社会から必要される缶を皆様と共につくっていきたいと思います。

2026年の干支は丙午で、物事が大きく動き出し、新しい挑戦や飛躍のチャンスの年だそうです。課題は多くありますが、一般缶業界にも若い人材、経営者が層が増えてきており、その若いパワーもがら業界発展の年にしたいと考えます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭所感

国際秩序の変化に対応しつつ、  
皆様とともに強い経済を実現する年に

経済産業省製造産業局 金属課長

鍋島 学



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年も、岩手県大船渡市で発生した林野火災や青森県東方沖を震源とする地震をはじめとして、多くの災害が発生しました。被災されたすべての皆様に、改めてお見舞いを申し上げます。

昨年、世界では、米国の鉄鋼・アルミニウムに対する追加関税措置が発表され、EUやカナダにおいても関税割当措置や追加関税が発表されるなど、国際貿易環境に大きな変化がありました。そうした中、国内では、日経平均株価が初めて5万円の大台に乗せるなど、これまでの日本経済からの変化の基調が現れました。

人手不足、インフレ圧力の高まりなど

ど、多くの課題はありますが、今年は、米国の関税措置などの国際秩序の変化に対応しつつ、皆様とともに強い経済を実現する一年としてまいりたいと思います。

昨年10月に誕生した高市政権において、危機管理投資・成長投資を集中的に行う17つの戦略分野が示されました。こうした投資を官民一体で推し進めるこ

とで、我が国経済の自律性や、世界における不可欠性を高めながら、成長を実現してまいります。

物価上昇を上回る賃上げを実現するため、適切な価格転嫁が重要です。本年1月1日より中小受託取引適正化法・受託中小企業振興法が施行されました。同法により新たに規制対象とされた協議に応じない一方的な代金決定の禁止を徹底するとともに、サプライチェーン上の複数事業者の連携を支援してまいります。

G Xの分野においては、昨年来、改正G X推進法に基づく排出量取引制度を具体化すべく、各分野別の排出量原単位等の作りこみを行ってきました。202

6年度はいよいよ本制度を本格稼働させる年となります。G X製品の需要創出、排出削減が困難な産業向けの燃料転換や製造プロセス転換に対する支援も同時に進めることで、脱炭素化に向けた皆様の取組を後押ししてまいります。

す。

最後に、皆様の益々の御発展と本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

**西日本一般缶工業協同組合 理事長 清水 雄一郎**

**年頭挨拶**

**実践連續の年に 気運に頼らず**

西日本一般缶工業協同組合 理事長 清水 雄一郎

の他にも阪神タイガースのリーグ優勝、大阪駅前のグランギリーン大阪のオーブンなど、2025年は大阪・関西が盛り上がりを見せた年だつたように思います。このような各地域を中心とした内需の盛り上がりの連続が日本全体の景気の上昇につながるのですが、実際には連続することなく単発で終わることが多く、流れに乗ることも大事ですがやはり各企業が変化をつけた独自の取り組みができるかにかかるところではないかと思います。2026年は丙午となり「情熱」「活力」「変革」の気運が高まり社会が大きく動く年とも言われています。一年の捉え方としてはとても良い年になりそうですが、結局のところ企業や個人として何もしなければ何も起きないわけで、この丙午の良い気運に乗るために、やはり待つだけではなく行動しなければならないのではないであります。

明けましておめでとうございます。組合員並びに賛助会員、関係各社の皆様、昨年は当組合の活動にご協力いただき誠にありがとうございました。また、皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

GXの分野においては、昨年来、改正GX推進法に基づく排出量取引制度を具体化すべく、各分野別の排出量原単位等の作りこみを行ってきました。202

6年度はいよいよ本制度を本格稼働させる年となります。G X製品の需要創出、排出削減が困難な産業向けの燃料転換や製造プロセス転換に対する支援も同時に進めることで、脱炭素化に向けた皆様の取組を後押ししてまいります。

あけましておめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げますとともに、旧年中は、製缶業界の皆様より多大なるご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

また、日々の業務を通じて多くの学びと励ましをいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

昨年は、米国の貿易政策や地政学リスクが重なり、世界経済が大きく揺れ動きました。特に、相互関税の導入により国際貿易に混乱が生じ、企業はサプライチェーンの見直しを余儀なくされました。

我々の業界でも、依然として厳しい状況が続いており、物流の遅延や供給不足が生産活動に影響を与え、原材料およびエネルギーコストの高騰、少子高齢化に

**中部製罐工業協同組合 理事長 安藤 宏行**

**年頭挨拶**

**価値ある製品づくりに邁進し、地域産業の発展にも微力ながら貢献していく**

中部製罐工業協同組合 理事長 安藤 宏行

する労働者人口の減少など多くの課題に直面いたしました。若手人材の育成、確保は製造業において欠かせない課題となっています。

A.I.技術は、2025年において創造的なツールから実用的なツールへと変化し、ビジネスや社会において重要な役割を果たすようになりました。

当業界においても、生成A.I.を導入、活用し、ロボットを導入するなどの取り組みを進め、業務の生産性や正確性の向上だけでなく、各々の企業の競争力や付加価値を高めるさまざまな変革を推進していくことが求められます。

本年は午年です。駆ける馬の勢いにあり、業界全体がさらなる飛躍を遂げます。私ども組合もその歩みにしつかりと並走し、挑戦と成長を続けるべく、気持ちを新たに取り組んでまいります。

また、ものづくり県・愛知に拠点を置く企業として、培ってきた技術力と現場力をより一層磨き上げ、品質向上と安定供給に努めてまいります。製缶業界を支える一員として、皆様とともに価値ある製品づくりに邁進し、地域産業の発展にも微力ながら貢献していく所存です。

本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りま

全日本金属印刷工業協同組合連合会 会長  
**菅谷 誠一**

年頭挨拶

丙午の年を金属印刷業界が駆け抜ける年に

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年6月、中田正和前会長から会長職を引き継ぎ、早くも半年余りが経過いたしました。前会長は2010年の就任以来、実に14年の長きにわたり本連合会の舵取りをされ、金属印刷業界の発展に大きな貢献をされました。その偉大な足跡を継承しつつ、新たな時代に相応しい組織運営を進めてまいります。

本年は十二支の「午年」、より正確には六十年に一度巡る「丙午（ひのえうま）」の年にあたります。馬は古来より前進と躍動の象徴とされ、一度も後ろを振り返らずに前へと進む姿から、新たな挑戦と飛躍を象徴する縁起の良い年とされてきました。「丙」は太陽のような明るさと情熱を、「午」は行動力とスピードを表します。我々もこの午年の精神を胸に、業界の未来に向けて力強く駆け抜けまいりたいと考えております。

近年、最も大きな経営課題となっているのが労務費の上昇です。しかし、この問題を単なるコスト増として捉えるではなく、産業の健全化へ向けた重要な転換点として前向きに受け止めるべきです。私ども金属印刷業界は、高度な技術と熟練の技が求められる産業であり、その技術を支えるのは人です。人への投資なくして業界の未来はありません。日頃より格別のご愛顧を賜っております缶業界の皆様とともに持続可能な事業基盤を築くため、労務費の適正化について相互理解を深めながら、丁寧に対話を重ねてまいりたいと考えております。

本年は世界的なスポーツイベントが目白押しです。2月のミラノ・コルティナ冬季オリンピック、3月のWBC、そして6月から7月にかけての史上初48カ国参加のサッカーワールドカップとなります。アスリートたちが限界に挑戦する姿は、私たちに前へ進む勇気を与えてくれます。この高揚感を胸に、我々も

年頭挨拶

胸に、業界の未来に向けて力強く駆け抜けまいりたいと考えております。

令和8年、丙午の年を、金属印刷業界が駆け抜ける年としたいと思います。馬が前だけを見てひたむきに駆け続けるように、我々もどんな困難があろうとも、前を向いて一歩一歩着実に駆け抜けまいりましょう。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、年頭のりますよう心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

東京都鍼灸師会議連合会 理事長  
**松苗 昭文**

年頭挨拶

必要に応じて時代に即した形でのあり方を模索

あけましておめでとうございます。

全日本一般缶工業団体連合会様には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。今年のお正月は穏や

日々の仕事に誇りと情熱を持って取り組んでまいります。

令和8年、丙午の年を、金属印刷業界が駆け抜ける年としたいと思います。馬が前だけを見てひたむきに駆け続けるように、我々もどんな困難があろうとも、前を向いて一歩一歩着実に駆け抜けまいりましょう。

かにお迎えされた方も多く居られたことと存じます。

さて昨年の世界を振り返って見ますと、米国では1月にトランプ政権2期目が発足し、その関税政策は日本を含む世界を困惑させました。ロシアのウクライナ侵攻問題は、足下米国、欧州諸国含め和平への取り組みが開始されておりましたが、いまだ出口が見えない状況となっております。一方、日本では7月に参院選で大敗を喫した石破政権が9月に退陣、10月には、公明党が連立を離脱し、新しく日本維新との新連立で、日本憲政史上初の女性首相となつた高市政権が発足しました。また台湾有事発言に起因する日中摩擦、物価高問題、人手不足、コメ不足、熊騒動、記録的猛暑など激動の1年となりました。

一方嬉しいニュースでは、大谷、山本、佐々木選手がポストシーズンでも大活躍し、ドジャースがワールドシリーズ連覇を果たし、大いに日本をも歓喜させてくれました。

この他にもスポーツ界においては数々の日本選手の素晴らしい活躍を目の当たりにし、感動と勇気をもらいました。また、関西万博の盛況、阪口志文・北川進両科学者がノーベル賞を同時受賞された事も記憶に新しい嬉しいニュースとなりました。

さて、今年はどんな年になるのでしょうか？まずは穏やかで平和な年になることを願うばかりです。業界といたしましては、その需要動向は依然厳しい環境下にあります。当組合は昭和29年以来、70年以上にわたり東京都鉄力地金商業協同組合として運営してまいりましたが、組合員各社の資金調達、材料の共同保管・共同運送といった当初の目的は、現状では既に会員各社で独自になされおり、時代の変化とともに目的としては既に形骸化しております。また、元々同一団体で事務局も共有しております東京都鉄鋼製品商業協同組合様も後継者不足とのことで今年度をもつて解散とお聞きしております。我々の組合といたしましても、今年度末をもつて解散の方針を固めました。今後も「材料をお届けする」というサプライチェーンの一角としての役割を果たしていくとの使命につきましては何ら変わるものではございません。今後業界としては必要に応じて時代に即した形でのあり方を模索していきたいと思います。何卒ご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、本年も一般缶業界の皆様にとりまして新しい活気溢れる明るい年になりますよう祈念致します。新年のご挨拶とさせていただきま

す。

## 西日本一般缶工業協同組合

# 組合新春懇親会を開催

令和8年1月6日、西日本一般缶工業協同組合は、大阪市の「梅田：ホテルグランヴィア大阪」において新春の組合互礼の懇親会を開催した。

清水雄一郎理事長は冒頭で「皆さん、明けましておめでとうございます。あっという間に2025年の1年も過ぎました。

昨年は、阪神タイガースの優勝があり、また万博でそれなりの仕事がありましたが、今年は、そのポッカリとした穴埋めを良い方向に考えていかなければならないと思っております。

今年は、丙午の午年で変化の年です。

### “皆さん、馬に乗る準備は出来ていますか”

ということで、会社の足腰を鍛錬した足取りで仕事を駆け抜けていきたいと思っております。一般缶各社において課題は色々とありますが、情報を共有して良い方向に持っていくことが必要です。業界全体として色々な面で情報交換をしていきたい。皆様にご協力いただくとともに、市場の変化を見極めながら、課題を解決していくことも必要です。今年も皆様と親交を深め良い1年をしたいと思っております」と挨拶した。

次に、乾杯を渋谷剛志副理事長の先導で行ない懇親に移った。組合会社他9名が出席、賀詞交歎と和やかな懇談が行なわれた。

最後に、小西康晴副理事長が閉会挨拶を行って盛会裡に散会した。



組合新春懇親会 参加者の皆さん

令和8年  
新年賀詞交歓会

**最上会長**

**「情報の共有や連携をさらに深め、持続可能で魅力ある一般缶業界に」**



挨拶に立った最上裕光会長は「一般缶業界を取り巻く環境は、インバウンド需要やお菓子缶のブームなど追い風もあるが、原材料やエネルギーコストの高騰、人手不足、多品種少量生産と、課題は複雑化している。しかし一般缶には大きな強みがあり、意匠性や機能性、用途に応じた柔軟な設計、各製缶会社が培ってきた技術力と工夫は、お客様のこだわりや付加価値をカタチにできる、私たちの存在意義そのもの。これから時代、お客様の商品価値を高めるパートナーとして新しい

全日本一般缶工業団体連合会は1月15日、東京・千代田区大手町のLEVEL XXI東京会館で新年賀詞交歓会を開催した。所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、贊助会員、協賛会員など175人が参集し、渋谷剛志運営委員の司会で進行した。



会長挨拶 最上会長



来賓挨拶 鍋島金属課長

次いで来賓を代表し、経済産業省製造産業局の鍋島学金属課長が「1月1日からは中小受託取引適正化法が施行されている。ここ数年来かなり取り組みは進んできたが、取適法の施行を機に一層こうした価格転嫁が実現することができればと思う。人手不足などいろいろな問題があるとは思うが、すべての企業で物価高に負けない販上げができるような経済のプロジェクトを作っていく必要があると考えております。経済がますます強いものになり、皆さまの需要、商売にも影響が出ることを願っている」と挨拶した。

ニーズに応えていくことが求められる。新たな潮流として自社製品の企画開発などが活発に行われており、情報の共有や連携をさらに深め、持続可能で魅力ある一般缶業界を広めていきたい」と新年の抱負を語った。



司会 渋谷氏



中締め挨拶 清水副会長



乾杯挨拶 東洋鋼鉢(株)河村部長

次いで鉄鋼メーカーを代表して東洋鋼鉢(株)缶材営業部の河村和彦部長が連合会の繫がりある力を強固なものにして、みんなで共に支え合いながら乗り越えていければと思う」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。歓談のあと清水雄一郎副会長の中締めで散会した。



## 合同部会 参加の皆さん

西日本一般缶工業協同組合

# 合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和7年11月18日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアヴィーナ大阪で合同部会を開催した。

出席者は7人。

1	各社の近況報告について	*本年6月以降での各社の近況報告と大阪万博後の缶需要と今後について幅広い分野（鋼材、副資材、人件費、物価等）の値上げを含めて価格転嫁への対応は、各社の違いはあるが対応は終わっている。 *今後も、引き続き原材料のコストアップに注視していく。 *売上げ%は上がっているが、価格転嫁分を含めると収益に影響を及ぼしている。 *万博での缶需要（菓子缶等）があったが、その後、来年以降の売上販路を考えていかなければならない。
2	物流の『2024年問題』への対応について	*各社での対応は違っているが、例として、荷出し（積合い）を共有してトータル的に物流コスト減の方法をとっている。 *コンテナ等の必要な時間を調整して効率化を計っていく。 *運転手の高齢化や人員不足等で、コストが上がると思われる。
3	人材確保の種々の対応について	*ハローワークでの人材確保は難しい。他の方法で派遣業者等で人材確保を行っているが、思うようにいかないのが現状。 *缶需要の繁閑差が大きいので、人材のやりくりが難しい。 *男女差関係なく、広範囲に適材適所で採用したい。
4	各種補助金対応について	*各種補助金（省エネ、設備等）の申請について、府・市の公的助成の広報を見た時では遅れる。事前に情報等を得たい。 *省エネや設備への補助申請は、申請書類が多岐に渡るので、例えばコンサルを使っての申請も一考。（費用対効果で） *今後、必要があれば、次回の合同部会で申請例を伺いたい。
5	夏季の熱暑を経て、今後の暑さ対策等について	*今年の夏は特に暑く、各社の対応を伺ったが、対応には多額の費用が発生するところで、種々の取組を今後も伺い来年の夏季へ準備していく。
6	その他（今後の行事日程）	*全日本一般缶工業団体連合会 新年賀詞交歓会開催 日時：令和8年1月15日（木）18:00～ 場所：東京都千代田区大手町『東京会館』 *合同部会・技術交流会開催 日時：令和8年1月22日（木）14:00～ 場所：アウェーナ大阪2階『銀杏の間』

東日本一般缶工業協同組合

## 令和7年度「情報交換会」を開催

第一部では、筒井久流通・交流委員長が全日本一般缶工業団体連合会で半期毎(4~9月期、10~翌年3月期)に実施している「景気動向等に関するアンケート」の集計結果のうち、東日本組合分を集計した結果を報告した。次いで第二部では、グルーピ討議①原材料価格変動を踏まえた顧客対応②人件費、工ネルギー、輸送費等、コスト上昇への対応策③多様化するニーズへの小ロット対応がA・Bの2グループに分かれ行われた。討議終了後にグループ長による発表があり、Aグループからは水戸部製缶株代表取締役の水戸部伸寿氏、Bグループからは(株)東都製缶代表取締役の横川達也氏がそれぞれ報告した。最後に筒井委員長がまとめと閉会の挨拶を行い終了した。

東日本一般缶工業協同組合は令和7年11月21日、鉄二健保会館で流通・交流委員会企画による「令和7年情報交換会」を開催し、組合員ら、25人が参加した。司会進行は神宮善太郎営業流通チーム副委員長が務めた。

## 活発なグループ討議を展開



情報交換会会場

東日本一般缶工業協同組合

## 水戸部副理事長、筒井理事が 東京都中小企業団体中央会 会長賞を受賞

令和7年10月16日、東京都中央区の銀座ブロッサムで開催された東京都中小企業団体中央会の創立70周年記念表彰式において、東日本一般缶工業協同組合の水戸部伸寿副理事長及び筒井久理事が多年組合の経営に尽力され組合発展に寄与した功績により、同中央会会長賞を受賞した。



## 中央会会長表彰(水戸部氏と筒井氏)

# 4S会議開催

西日本一般缶工業協同組合

4S会の会議は、令和7年10月9日（火）午後3時40分より大阪市の「ホテル日航大阪」において開催された。

関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合の3組合から14名が出席した。

## 第1議題 「各組合の業界状況並びに関連諸問題」について話し合われた

- 西日本一般缶工業協同組合の清水理事長から「価格転嫁が進んで売上が100%であっても数量は減少、組合員各社で価格転嫁の進捗と売上成長に期待している。鋼材の大幅値上げ、副資材の値上げへの対応や価格転嫁への取組みも、ほぼ見通しがついたと認識しているが、引続き動向（薄板関係）に注視したい。」
- また「賃上げ、エネルギーコスト等を含めた全ての面で値上げ対応は今後も継続していく。」

## 第2議題 「各業界における課題、問題点」

- 若手従業員が一度の失敗で離職するケースが多く、定着しにくい。
- 缶需要の繁閑差が大きくなり材のやりくりも大変になつていて。
- 印刷事業において、具体的な付加価値の定義は難しいが、例として小ロット生産の対応などが考えられる。
- 原料価格の上昇分を製品価格へ十分に転嫁することが難しく、対策として製品の種類を減らすメーカーも出ていている。
- 値上げを行うと、顧客が他の容器へ切り替えるなどして売上がゼロになるリスクがある。
- 原材料費に加え、検品工数の増加や人件費の上昇も経営を圧迫している。
- 夏場の工場内が高温になることが、人材採用の大きな障壁となっている。
- 顧客からの支払いサイトは、従来の120日や180日から90日や60日へ短縮されるケースが出ていて。特に缶業界は、仕入れから現金化までのサイクルが長く、旧来の慣習が根強く残っている。

\*各社、各業界の課題が顕在化しており、確実に課題解決していくことが重要であること、引き続き情報交換し協力していくことで会議を終えた。



4S会 会議風景

### 和7年6月～11月までの一般缶生産出荷実績

(単位:t)

年月	生産	出荷		在庫	
		販売	その他		
経済産業省データ	7. 6	3,892 (3,490)	3,903 (3,546)	0 (20)	10,289 ( 9,863)
	7	3,768 (3,610)	3,783 (3,703)	0 (30)	10,269 ( 9,737)
	8	2,981 (3,176)	2,810 (3,148)	0 (34)	10,440 ( 9,728)
	9	3,621 (3,659)	3,514 (3,526)	40 ( 7)	10,544 ( 9,850)
	10	4,239 (4,543)	3,932 (4,177)	0 (21)	10,838 (10,193)
	11	4,096 (4,505)	4,021 (4,361)	0 (48)	10,917 (10,283)

年月	生産	出荷		在庫
		販売	その他	
連合会データ	7. 6	2,851 (2,722)	2,778 (2,741)	7,932 (7,534)
	7	2,803 (2,876)	2,802 (2,911)	7,906 (7,464)
	8	2,400 (2,694)	2,426 (2,673)	7,827 (7,526)
	9	2,852 (2,890)	2,723 (2,712)	7,944 (7,656)
	10	3,357 (3,485)	3,185 (3,378)	8,096 (7,794)
	11	3,146 (3,445)	3,170 (3,418)	8,074 (7,828)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

全日本一般缶工業団体連合会

## 「エコプロ2025」に共同出展 当ブースには学生を中心に多数来場

全日本一般缶工業団体連合会は令和7年12月10日から12日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2025」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

当連合会では、会員各社からご提供いただいた一般缶並びに一般缶の8つの特性と金属印刷の流れについて説明したパネルを展示。新たに行つた「缶釣り」では、来場者にスチール缶は身近なものだと感じてもらつた。また、当連合会のDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R（スリーアール）」、スチール缶リサイクル協会のDVD「スチール缶リサイクルのおはなし」、全国十八リットル缶工業組合連合会のDVD「18リットル缶戦隊ゴガロンジャー」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

当展示ブースには、3日間でおよそ2千人強の方々が来場した。この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶（スチール缶）」の良さをおおいにアピールした。



缶釣り体験をする子供たち



	
<b>側島製罐株式会社</b>	代表取締役 石川貴也
愛知県海部郡大治町大字西條字附田 電話 ○五二(四四二)五一一一 FAX ○五〇(三五三五)七三一七	東京都墨田区本所一一二一三 電話 ○三(三六二三)一一六六 FAX ○三(三六二三)六二六四
<b>高野興業株式会社</b>	代表取締役 高野康弘
埼玉県草加市苗塚町五七七 電話 ○四八(九二二)八三七三 FAX ○四八(九二二)八三七五	千葉県市川市塩浜一一一四 電話 ○四七(三〇六)〇二一〇 FAX ○四七(三〇六)〇二一九
<b>山雄製缶工業株式会社</b>	代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区大淀中 電話 ○六(六四五二)五一四一 FAX ○六(六四五二)〇八二二	大阪府大阪市北区大淀中 電話 ○六(六一一一)一四 FAX ○六(六一一一)一四
<b>有限会社山野初製缶所</b>	代表取締役 木下光美
大阪府八尾市太田七一一〇 電話 ○七二(九四八)〇五五八 FAX ○七二(九四八)二八五五	大阪府八尾市太田七一一〇 電話 ○七二(九四八)〇五五八 FAX ○七二(九四八)二八五五
<b>株式会社 ライトハウス金属工場</b>	代表取締役 岩橋徹
大阪府大阪市鶴見区今津中 電話 ○六(六九六三)〇四四一 FAX ○六(六九六八)二二九八	東京都墨田区太平四一五一一五 電話 ○三(五六一)七七七〇 FAX ○三(五六一)七七六〇
<b>日東製罐販売株式会社</b>	代表取締役 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九 電話 ○五六四(五二)一五六一 FAX ○五六四(五一)一五六三	東京都千代田区神田和泉町一一七一 電話 ○三(五六八七)五九六六 FAX ○三(五六八七)六一五五
<b>静岡製缶有限公司</b>	代表取締役 松永明人
静岡県静岡市駿河区豊田二一八一八 電話 ○五四(二八七)〇一二二三 FAX ○五四(二八七)〇五〇五五	埼玉県越谷市新川町一一一四五 電話 ○四八(九八七)〇七〇一 FAX ○四八(九八七)〇七三〇
<b>スチールリーフ株式会社</b>	代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五十四八一五 電話 ○三(三六二〇)八〇六〇 FAX ○三(三六二〇)八〇六〇	埼玉県草加市苗塚町五七七 電話 ○四八(九二五)一五八一 FAX ○四八(九二八)二六二〇
<b>株式会社日本金属印刷所</b>	代表取締役 若松幹雄
東京都墨田区業平二一一〇一九 電話 ○三(三六二五)六一〇一 FAX ○三(三六二五)六一〇四	埼玉県草加市苗塚町五七七 電話 ○四八(九二五)一五八一 FAX ○四八(九二八)二六二〇
<b>富士メタルプリントイング株式会社</b>	代表取締役 菊井洋祐
静岡県島田市中河九八五五四 電話 ○五四(三八七)三八五五 FAX ○五四七(三八三八五三)	三重県伊勢市佐八町八九四 電話 ○五九六(三九)一一三三 FAX ○五九六(三九)一一三六
<b>株式会社N.P.W技研</b>	代表取締役 山本亮太
静岡県伊勢市佐八町八九四 電話 ○五九六(三九)一一三三 FAX ○五九六(三九)一一三六	大阪府大阪市西区北堀江 電話 ○四八(二九一)九〇九七 FAX ○四八(二九一)九〇九八
<b>株式会社三幸商事株式会社</b>	代表取締役 武田有広
兵庫県加東市長貞一八二七 電話 ○七九五(四七)一九八三 FAX ○七九五(四七)一九九六	大阪府大阪市西区北堀江 電話 ○六(六五四一)九三三一 FAX ○六(六五四一)三五八八
<b>株式会社神光</b>	代表取締役 小河朋久
大阪府摂津市別府二一三一一八 電話 ○六(六三四九)一六五一 FAX ○六(六三四九)七二二八	兵庫県加東市長貞一八二七 電話 ○七九五(四七)一九八三 FAX ○七九五(四七)一九九六
<b>西部容器株式会社</b>	代表取締役社長 川島大吾
大阪府摂津市別府二一三一一八 電話 ○六(六三四九)一六五一 FAX ○六(六三四九)七二二八	大阪府摂津市別府二一三一一八 電話 ○六(六三四九)一六五一 FAX ○六(六三四九)七二二八
<b>エイコー株式会社</b>	代表取締役 菊井治
埼玉県三郷市彦川戸一三八一六 電話 ○四八(九五三)二三六一 FAX ○四八(九五三)五四二一	埼玉県三郷市彦川戸一三八一六 電話 ○四八(九五三)二三六一 FAX ○四八(九五三)七六四〇
<b>二橋プリント株式会社</b>	代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一三八一六 電話 ○四八(九五三)二三六一 FAX ○四八(九五三)七六四〇	埼玉県三郷市彦川戸一三八一六 電話 ○四八(九五三)二三六一 FAX ○四八(九五三)七六四〇
<b>城北鉄力印刷工業所</b>	代表取締役社長 竹腰三徳
千葉県市川市塩浜一一一四 電話 ○四七(三〇六)〇二一〇 FAX ○四七(三〇六)〇二一九	千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一 電話 ○四七一九八二六二一 FAX ○四七一九八二七七九
<b>大成プリキ印刷株式会社</b>	代表取締役社長 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿 富田四四六 電話 ○二九七(八六二四二〇 FAX ○二九七(八六二四二〇	茨城県松戸市上本郷八一 富田四四六 電話 ○四七(三六二〇一三五 FAX ○四七(三六二〇一八七一五
<b>株式会社江連金属印刷所</b>	代表取締役 江連一
千葉県松戸市上本郷八一 富田四四六 電話 ○四七(三六二〇一三五 FAX ○四七(三六二〇一八七一五	千葉県松戸市上本郷八一 富田四四六 電話 ○四七(三六二〇一三五 FAX ○四七(三六二〇一八七一五
<b>株式会社井上博商店</b>	代表取締役社長 井上歩美
大阪府東大阪市楠根二一六一三 電話 ○六(六七四八)二三六一 FAX ○六(六七四六)〇四〇〇	大阪府東大阪市楠根二一六一三 電話 ○六(六七四八)二三六一 FAX ○六(六七四六)〇四〇〇
<b>是松鋼商株式会社</b>	代表取締役社長 是松一郎
大阪府東大阪市楠根二一六一三 電話 ○六(六七四八)二三六一 FAX ○六(六七四六)〇四〇〇	大阪府東大阪市楠根二一六一三 電話 ○六(六七四八)二三六一 FAX ○六(六七四六)〇四〇〇
<b>株式会社</b>	代表取締役 二橋英之
大阪府大阪市天満二二二一八 電話 ○六(六三五三)〇九四三 FAX ○六(六三五三)七六四〇	大阪府大阪市天満二二二一八 電話 ○六(六三五三)〇九四三 FAX ○六(六三五三)七六四〇
<b>松本金屬工業株式会社</b>	代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二二二一八 電話 ○六(六三五三)〇九四三 FAX ○六(六三五三)七六四〇	大阪府大阪市北区天満二二二一八 電話 ○六(六三五三)〇九四三 FAX ○六(六三五三)七六四〇



**東日本一般缶工業協同組合**

令和7年8月から  
令和8年1月までの行事

全日本一般缶工業団体連合会

3 / 12 第3回理事会(役員会)  
5 / 未定 会計監査  
5 / 未定 第1回理事会(役員会)

6 / 未定 第48回定期総会

6 / 未定 第49回全国流通委員会・部

7 / 10 一般缶イノベーションフォーラム

2026

令和7年11月12日久能カントリー俱  
樂部で第77回CPSM会を開催した。  
参加者は22人。

上位入賞者は次の通り。

優勝 戸谷 豊氏

(日本金属印刷所)

二位 江連一義氏

(江連金属印刷所)

三位 中田正和氏

(天成プリキ印刷)

シニア部門

優勝 中田正和氏

(天成プリキ印刷)

48

42

90

10

80

44

43

87

13

74

10 / 27

エコプロ2025

「第2回出展ブースWG会議」

「第3回出展ブースWG会議」

スチール缶連絡協議会

エコプロ2025

12 / 4

エコプロ2025

「出展ブース配布資料セット」

12 / 10

エコプロ2025

「第3回出展ブースWG会議」

スチール缶連絡協議会

エコプロ2025

12 / 15

エコプロ2025

「第2回理事会(役員会)」

12 / 14

エコプロ2025

「全国十八リットル缶工業組合連

合会(新年賀詞交換会)」

12 / 15

エコプロ2025

「第2回理事会(役員会)」

12 / 15

エコプロ2025

「第2回理事会(役員会)」